

会 告

第 82 回講演大会講演募集

—申込(原稿同時提出)締切り 昭和46年 7 月31日(土)—

本会は第 82 回講演大会を昭和 46 年 10 月 12 日(火), 13 日(水), 14 日(木)の 3 日間金沢大学(金沢市丸の内 1-1)において開催することになりました。下記要領により講演募集をいたしますので、奮つてご応募下さるようご案内いたします。

講演希望者は昭和 46 年 7 月 31 日(土)までに申込用紙と講演概要原稿を提出して下さい。

講演要領

1. 講演内容 鉄鋼の学術、技術に直接関連あるオリジナルな発表
(設備技術、I E などに関する発表を歓迎いたします)
2. 講演時間 1 講演につき講演 15 分、討論 5 分の予定
3. 講演前刷原稿 講演前刷原稿はオフセット印刷いたしますので別添「講演概要原稿の書き方」をご覧のうえ申込時にご提出下さい。
1) 原稿は読者に研究目的、方法、成果などが理解しやすいようにお書き下さい。謝辞は省略して下さい。
2) 原稿は所定の「オフセット用原稿用紙」1 枚(表、図、写真を含め 1600 字)にタイプ印書あるいは黒インクまたは墨を用い手書きとして下さい。
なお、オフセット用原稿用紙は有償頒布いたしますのでお申し込み下さい。
4. 講演概要集 「鉄と鋼」第 11 号(臨時増刊号)として発行いたします。

申込要領

1. 講演申込資格 講演者は本会会員に限ります。非会員の方で講演を希望される方は、所定の入会手続きを済ませたうえで、講演申込みをして下さい。また共同研究者で非会員の方も入会手続きをされるよう希望いたします。
2. 講演申込制限 講演申込みは 1 人 3 件以内といたします。
3. 申込方法 本誌添付の講演申込用紙に必要事項を記入の上、講演前刷原稿とともにお申し込み下さい。
4. 申込用紙の記載について
1) 申込用紙は(A)、(B)とも太字欄をのぞき楷書でご記入下さい。

製 鉄		製 鋼				加 工						
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
製鉄基礎	原料・燃料	高炉製鉄	特殊製鉄	フェロアロイ	製鉄耐火物	製鋼基礎	溶解・精錬	造塊	製鋼耐火物	塑性加工	熱処理	表面処理・防食
加 工			性 質									
14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
鑄造	粉末冶金	溶接	金属物理	金属組織	鋼の性質	鉄鋼材料	鑄鉄・鑄鋼	分析	試験・検査技術	計自動制御	I E 一般の技術	その他

- 2) プログラム編成上の参考といたしますので、「講演分類欄」に講演内容が、前記のいずれに該当するか、番号でご記入下さい。
- 3) スライドの要否は該当するものに○印をつけて下さい。
- 4) 講演者には氏名の前に○印を、また研究者氏名にはローマ字読みを付して下さい。
- 5) 講演要旨は、情報管理のための文献検索カードに利用いたしますので講演内容が明確に把握できるようおまとめ下さい。

5. 申込みの受理

下記の申し込みは理由のいかんにかかわらず、受付はいたしませんので十分ご注意ください。

- 1) 所定の用紙以外の用紙を用いた申込
- 2) 必要事項が記入されていない申込
- 3) 講演内容が鉄鋼の学術、技術に直接関連がないと認められる場合
- 4) 単なる書簡または葉書による申込ならびに電報、電話による申込
- 5) 文字が読みづらいもの、印刷効果上不適当なものと認められるもの

6. 申込締切日 昭和46年7月31日(木)17時着債まで
申込用紙、講演前刷原稿を同時提出のこと。
7. 申込先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階
(社) 日本鉄鋼協会 編集課

第82回講演大会討論講演募集

—— 締切日(原稿ともに)昭和46年7月24日 ——

第82回講演大会の際に行なう討論会の討論講演を募集いたしますので、上記ご覧のうえ奮つてご応募下さい。

1. 討論会テーマ

1. 高炉内における還元過程 座長 館 充君
2. 連続铸造(铸造要因と材質の関係) 座長 太宰 三郎君
3. 鉄鋼の強化組織と靱性 座長 荒木 透君
(本テーマは、金属学会「混合組織を有する合金の強度と靱性」と合同シンポジウムとして開催されます)。
4. オーステナイトステンレス鋼の高温強度と微細組織 座長 田中 良平君
5. 鉄鋼の格子欠陥 座長 橋口 隆吉君

2. 講演時間 1講演20分とします。

3. 討論講演の採否 討論講演としての採否は討論会座長にご一任下さい。不採用となりました場合一般講演としてプログラムに編入いたしますので、あらかじめお含みおき下さい。

4. 講演前刷原稿 講演原稿はオフセット印刷いたしますので、別添「講演概要原稿の書き方」ご覧のうえ原稿用紙4枚以内(表、図、写真を含め6700字)に黒インクまたは墨で楷書で明りようにお書き下さい。

なお、オフセット原稿用紙は有償頒布いたしますのでお申込み下さい。

5. 申込方法 綴込講演申込書に必要事項ご記入のうえ申込書右肩に「討論会名」を朱書し、原稿同封のうえ申込み下さい。

6. 申込締切日 昭和46年7月24日(土)

「鉄と鋼」特集号のお知らせ

テーマ『高炉の複合送風』

本会編集委員会では、会員各位に本誌をよりよくご活用いただけるよう本年より年2回程度の特集号の発行を企画し、編集をいたしております。

今回は羽口以外の箇所からの還元ガス吹込みをも含め標記「高炉の複合送風」をテーマに下記により編集いたすことになりましたので、関連した論文あるいは技術報告をふるつてご投稿下さるようご案内いたします。

記

1. テーマ 「高炉の複合送風」
2. 論文締切日 昭和46年8月14日(土)
3. 発行予定 「鉄と鋼」, 第58年第5号(昭和47年4月号)
4. 原稿送付先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階 日本鉄鋼協会 編集課

昭和 47 年春季 (第 83 回) 講演大会 討論会 討論講演募集のお知らせ

— 申込締切：昭和46年8月14日 —

本会では講演大会における討論会が活発で有意義なものとなるよう会員各位から伺ったご意見を参考に種々検討を重ねてまいりましたが、昭和47年春季(第83回)講演大会より、従来の方法を改正、討論テーマ発表を1年前に行ない、討論講演の会誌掲載を現在より2カ月早めて、講演に対する討論者を公募することにいたしました。

昭和47年春季(第83回)講演大会討論の討論講演を下記により募集いたしますので奮ってご応募下さるようご案内いたします。

記

1. 討論会テーマ

1. 高炉における SiO_2 の還元

座長 川 合 保 治 君

炉内採集試料よりみた高炉内におけるメタル中の Si 含有量の変動とそれに影響する SiO ガス生成および吸収、メタル-スラグ間反応 (SiO_2 還元速度) などに関する諸問題をとりあげて討論いたしますので、奮ってお申し込み下さい。

2. ステンレス鋼の精錬

座長 不 破 祐 君

ステンレス鋼の溶製およびその真空精錬に関する今回の討論会は、その基礎となる諸反応の問題を主題とします。これらの溶製および精錬に関する基礎的研究の講演を公募いたします。

なお、この問題についての討論会は今後も続ける予定であります。

3. 強力鋼の微視組織と遅れ破壊

座長 荒 木 透 君

つぎの三つの観点からの講演および準備討論(実験データ発表)を公募いたします。

1. 高強度の鋼と環境破壊力学(亀裂伝ば特性を中心)
2. 鋼の遅れ破壊現象の基礎過程の機構に関する研究(格子欠陥、マイクロ亀裂と水素、含水素化合物との相互作用)
3. 各種合金鋼の熱処理組織と遅れ破壊挙動の関連(マイクロフラクトグラフィ、微視組織解析による実証)

4. 鉄鋼と非鉄 BCC 金属の異方塑性

座長 橋 口 隆 吉 君

BCC 金属が FCC 金属と著しく異なる塑性挙動を示すことが、もつとも顕著にあらわれる異方塑性の問題を主題とする講演を募集いたします。

—以上のほか加工関係から1件討論テーマを検討中であります。

2. 申込締切日 昭和46年8月14日(土)

3. 申込方法 本誌綴込みの申込用紙(オレンジ色)に必要な事項ならびに申込書裏面に450字程度の講演の抽象ストラクトをお書きのうえお申し込み下さい。

4. 討論講演の採否 討論講演としての採否は、前記ご提出の抽象ストラクトにより検討のうえ決めさせていただきますので、あらかじめお含みおき下さい。

5. 講演前刷原稿締切日 昭和46年11月4日(木)

討論講演として採用された方は、本会所定のオフセット原稿用紙4枚以内(表、図、写真を含め6700字)に黒インクまたは墨で楷書で明りようにお書きのうえ、ご提出下さい。

6. 講演テーマ・講演者の発表 「鉄と鋼」第58年第1号(昭和48年1月号)にて発表いたします。

7. 講演内容の発表 「鉄と鋼」第58年第2号(2月号)に講演内容を掲載いたします。(従来より2カ月早くなっております)。

8. 討論質問の公募締切日 昭和47年3月上旬

前記第2号掲載の講演内容をご覧のうえ、質問対象講演を明記のうえ、本会編集課宛ご送付下さるようお願いいたします。

申込先：100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階
日本鉄鋼協会編集課 Tel. 03-279-6021 (代)

日本鉄鋼協会九州支部

総会ならびに湯川正夫記念・合同特別講演会

本会九州支部では、下記により総会および第1回湯川正夫記念講演ならびに日本金属学会九州支部共催による合同特別講演会を開催いたします。多数御参加下さるよう御案内申し上げます。

1. 日 時：昭和46年6月18日(金) 13:00~16:30
2. 場 所：九州大学工学部防音教室(福岡市箱崎町)
 - 支部総会 13:00~13:30
 - 講演会 13:30~16:30
 - 13:30 製鉄用原子炉について〔湯川正夫記念講演〕
東工大原子炉工学研究所教授 鈴木 弘茂君
 - 14:30 金属材料の中性子線照射損傷
九大応用力学研究所教授 北島 一徳君
 - 15:30 玄海原子力発電所の概要
九州電力(株)取締役原子力建設部長 石橋 周一君

第13回高圧討論会案内

- 共催 日本化学会, 日本鉄鋼協会, ほか
- 日 時 10月13日(水), 14日(木)
- 会 場 東京大学教養学部(東京都目黒区駒場 3-8-1)
- 討 論 主 題 1. 高圧装置, 材料 2. 超高圧
3. 高圧下の物性 4. 高圧反応
- 講演申込締切 7月5日(月)
- 講演申込方法 所定の書式による講演申込書にプログラム編成用の概要を添えてお申込み下さい。
講演時間15分, 討論時間10分の予定。スライド使用のこと。
- 予稿原稿締切 8月30日(月)
- 申 込 先 図表も含めて約4,000字の予定です。講演申込者にはオフセット用原稿用紙をお送りします。
〒153 東京都目黒区三田 2-19-19 東京工業試験所第6部 小寺嘉秀
(電話 03-711-7411)

第36回塑性加工シンポジウム

主題：冷間鍛造用材料と素材取り

- 共催：日本塑性加工学会, 日本機械学会 協賛：日本鉄鋼協会, ほか
- 日 時 昭和46年7月20日(火) 9:00~17:00
- 場 所 名古屋
- 日 時 講演 1. 実用作業における冷鍛特性に及ぼす 2, 3 の成分の影響 大同中研 伊藤哲朗, ほか
2. 冷間鍛造性に及ぼす切削性向上元素の影響 住金中研 大野 鉄
3. 溝付圧縮試験法による冷間鍛造性の評価 新日鉄基礎研 南雲道彦
3-1 試験方法と鋼の金属組織及び非金属介在物による影響 都立大工 宮川松男, ほか
3-2 非鉄材料の結果 名古屋大工 戸沢康寿, ほか
3-3 予加工材の結果 横浜国大 工藤英明
4. 日本塑性加工学会冷間鍛造分科会報告 島野工業 松本周三
5. 素材どりの経済性 トヨタ自工 大西利美
6. 素材どりの問題点 東大生研 中川威雄
7. 素材の精度向上のための 2, 3 の試み 機械技研 田村公男, ほか
8. 丸棒の回転式切断
9. 討 論